



重富小学校 学校便り

剣の平

令和6年度 5月号
創立136周年

(重富小HPアドレス)
<http://www12.synapse.ne.jp/sigetomisyo/>

学校
教育
目標

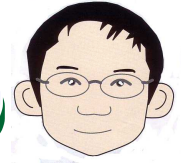
「剣の平」に誓う

光り輝く重富の子

学校キャッチフレーズ

well-beingな学校

毎日のドラマの中に「自律」「共感」「学び続ける」「well-being」...



校長 平 千カ

新学期が始まり1か月が経ちました。私は、毎日たくさんのドラマを目にしています。毎朝、校区内の至るところで、見守り隊の皆様や民生委員の皆様、その他にもたくさんの皆様が子供たちの登校を見守っています。「おはようございます。」「いいあいさつだ。元気に頑張るなさいね。」地域の皆様の温かい声と優しい心。その姿に応える子供たち。まさに、「well-being」な姿だと思えます。



毎朝、7時30分からの校門前で立哨指導。御父様や御母様と一緒に、登校する幸せそうな子供たちの姿。お兄ちゃんやお姉ちゃんと手をつないで微笑ましく登校する姿。思わず笑顔になってしまいます。

校門前になって、不安になり泣き出してしまう1年生。なんとか自信を付けさせようと「大丈夫よ、よしよし。」と優しく語りかけるお母様。お母様の優しさを感じます。

お母様をぎゅっと抱きしめ、ひとしきり泣いた後、少しずつ足を進めて行きます。

高学年の子供たちも、「よしよし、寂しいね。」「一緒に行こう。」「お姉ちゃんもそんなことがあったよ。」「教室に行くとするよ。」と優しい言葉をかけてくれます。まさに、「共感する心」です。1年生の心に寄り添っています。

なかなか泣き止まないの、よし、校長先生と一緒にいこうね。」と、私も手をつないで校門をくぐることもしばしば。私の手を「ぎゅっ」と握り返す小さな手の力に、何とも言えない「不安と頑張りたい」という子供の心に触れ、私も心が揺さぶられます。

泣き出した我が子に、「頑張るなさい。」と強い口調で言うお父様。お父様の強さを感じます。何度も、何度も、振り返りながら校門に入っていく姿。それを、厳しく、優しく見守るお父様。私は「頑張れ〜」と心の中で思っています。私は、こうしたドラマを毎朝見えています。

学校の中でも、いろいろなドラマがあります。

高学年の子供たちは、朝から、玄関の前や校庭の掃除をしています。学校をきれいにしようと一生懸命です。みんなのために頑張る姿に、「自律」を感じます。自分たちの教室だけではなく、5・6年生として、学校全体を「自分ごと」と捉えて掃除をしてくれています。私は、いつも「ありがとう」と思っています。



授業中、先生も子供たちも真剣です。輝く目で学び続ける子供の姿と、大きな心と緻密な教材研究をもとにして分かりやすく教える教師の姿。

昼休み。校庭で元気よく子供たちや先生が楽しそうに遊んでいます。裏山でも楽しく遊んでいます。草むらで見つけた虫や、池の中にいるメダカやアカハライモリに夢中になっています。鍛錬坂を上から下に何回も何回も走って楽しそうに競争しています。裏山全体を使ってかくれんぼをしています。子供たちの世界は、自然とのふれあいや共生によって心が豊かに育まれていくのだと思っています。そして、子供たちの心は、ゆったりとした時の中でゆっくりと成長していくのだと思いました。自然から学び続ける子供たちの姿を嬉しく思っています。



こんなにも、御父様、御母様、御家族の皆様、地域の皆様、そして重富の自然に見守られている学校も子供たちも 幸せだと感じています。

この幸せがずっとずっと続くように、well-beingな学校になるように……。みんなで力を合わせていきましょう。